

Live for garden island

下蒲刈 ガーデンアイランド〈庭園の島〉 地域まちづくり計画



～歴史と伝統文化を次世代に
故郷を愛せるまち「しもかまがり」～



令和2年12月14日 改訂

下蒲刈町まちづくり協議会

— 目 次 —

1. 計画策定の趣旨	1		
2. 私たちのまち「下蒲刈」の再認識	1		
(1) 位置・特性	(2) 歴史	(3) 主な文化・観光施設等	
(4) 人口・世帯・自治会	(5) 長所「宝」		
3. これまで進めてきたまちづくりの特色	4		
(1) 「文化と歴史の掘り起こし」と「ガーデン・アイランド構想」に基づくまちづくり			
(2) エリア別まちづくりの特色	・下島地区	・三之瀬地区	・大地蔵地区
4. 安芸灘諸島に期待される役割	6		
5. 私たちのまちの実状と課題	7		
6. まちの将来像“スローガン”	8		
7. まちづくりの方針（振興方針・活動方針・活動内容）	9		
(1) 振興方針と活動方針			
① 文化と歴史の継承と観光色あふれるまちづくり			
(I) 伝統文化継承の充実			
(II) 観光振興・地域PRの充実			
② みんなで支え合い、心豊かに暮らせるまちづくり			
(I) 環境衛生美化の充実			
(II) 芸術文化・生涯学習の充実			
(III) 緑化推進の充実			
(IV) 世代間交流			
③ 健康で安心して住み続けられる社会環境と福祉のまちづくり			
(I) 健康づくりの充実			
(II) 高齢者福祉の充実			
(III) 交通事故の防止と安全対策の充実			
(IV) 防犯対策の充実			
(V) 防災対策の充実			
(2) 計画体系図			
(3) 活動内容（事業別）			
8. 各種団体一覧	23		

1. 計画策定の趣旨

「市民協働のまちづくり」を進める呉市では、平成20年度に「ゆめづくり地域協働プログラム」を策定し、それぞれの地域で住民自らが地域の歴史や文化の再発見、地域資源の保全など、実状や課題を話し合い、その具体的な解決策や振興策など地域の将来像を盛り込んだ地域まちづくり計画を策定することを支援し、その計画に沿った特色ある自主的なまちづくりを推進している。

これを受けて、下蒲刈地区では、まちづくり協議会が中心となり、これまで進めてきた「文化と歴史の掘り起こし」や「ガーデン・アイランド〈庭園の島〉構想」に基づくまちづくりを再認識し、当地区が抱える課題の解決に向け、取組や役割を盛り込んだまちづくり計画を策定した。

2. 私たちのまち「下蒲刈」の再認識

(1) 位置・特性

- ◇北に川尻町，東に蒲刈町，西に音戸町・倉橋町とそれぞれ海を挟んで隣接し，南には遠く四国連峰を臨む四方を海に囲まれた島。
- ◇広島県の南端，仁方町の南東海上約5kmに位置し，下蒲刈島と上黒島，下黒島，ヒクベの島々から成る総面積8.71Km²の町。
- ◇急傾斜地と瀬戸内海式の温暖な気候を利用し，基幹農作物として，かんきつ類（みかん，レモンなど）やイチゴの栽培に適している。
- ◇近年まで離島として厳しい立地条件にあったが，平成12年1月に「安芸灘大橋」が完成したことにより，住民の利便性が向上した。また，同時に観光地としての需要も高まり，地域の活性化にも繋がった。さらに平成20年11月には，豊島大橋が開通して四島（下蒲刈島，蒲刈島，豊島，大崎下島）が陸続きになり，安芸灘とびしま海道の玄関口となった。

「安芸灘とびしま海道」の玄関口 下蒲刈

「安芸灘とびしま海道」とは、安芸灘大橋から岡村大橋までの総称の愛称です。「瀬戸内海に浮かぶ島々は、あたかも庭園をわたる飛石(とびいし)のよう」で安芸灘へと通じる海の道である」とのイメージから命名されました。

安芸灘大橋を渡って最初の島「下蒲刈」は、まさにその玄関口にふさわしい「ガーデンアイランド」。

令和元年10月には「みなとオアシス下蒲刈」として道の賑わい拠点となる「みなとオアシス」に登録されました。

主要交通機関による
【呉市下蒲刈まで所要時間】
 ●広島市内より車………約60分
 ●広島空港より車………約70分
 ●広島駅よりバス………約55分
 ●広島駅よりバス………約59分
 ●広島駅よりバス………約17分
 ●バスのお問い合せ
 瀬戸内交通…TEL:082270-7051
 広島バス…TEL:0822316-2993
 【安芸灘大橋】の通行料金(片道)
 ●普通車………730円
 ●軽自動車………620円
 ●大型車………1,200円
 ●特大型………2,040円
 ●総重量125t超の二輪自動車………570円
 ●原動機付自転車………50円
 ●歩行者・自転車………無料
 ●お問い合わせ
 安芸灘大橋管理事務所 TEL:0822-87-3947

安芸灘大橋
平成12年1月開通・長さ1,175m

安芸灘大橋
平成20年11月開通・長さ903m

豊島大橋
平成4年11月開通・長さ548m

安芸灘大橋
昭和54年10月開通・長さ480m

(2) 歴史

◇中世頃、瀬戸内海の交通・交易が盛んで、多賀谷水軍が勢力を持ち、丸屋城を築くなど、往来船舶の停泊地として栄える。

◇江戸時代、三之瀬に本陣・番所・茶屋が整備され、参勤交代の西国大名の船、朝鮮・琉球・オランダ等の使節団が立ち寄るなど大繁栄する。

◇善隣友好使節団である朝鮮通信使の寄港地（12回来日したうち11回立ち寄ったといわれる）として、歴史と伝統を持つ由緒ある町として知られている。

◇明治22年4月1日、町村制の施行により上蒲刈島と下蒲刈島の両島で蒲刈島村として発足。明治24年7月24日、下蒲刈島村（上蒲刈島の向区を含む）と上蒲刈島村に分村。昭和22年8月1日向区が分村。昭和37年1月1日、町制施行により下蒲刈町となり、平成15年4月1日に呉市と合併し、呉市下蒲刈町として現在に至る。



(3) 主な文化・観光施設等

- ◇大平山公園 ◇白崎園 ◇観瀾閣 ◇福島雁木 ◇侍屋敷
- ◇三之瀬御本陣芸術文化館 ◇蘭島閣美術館 ◇蘭島閣美術館別館 ◇白雪楼
- ◇松濤園（陶磁器館，御馳走一番館，あかりの館，蒲刈島御番所） ◇昆虫の家
- ◇梶ヶ浜海水浴場 ◇梶ヶ浜キャンプ場 ◇コテージ梶ヶ浜 ◇貝と海藻の家
- ◇朝鮮通信使記念庭園 ◇姫ひじき塩づくり体験施設

(4) 人口・世帯・自治会（令和2年9月末現在）

◇人 口 1,346人（男 641人，女 705人）
世帯数 727世帯

◇年齢階層別人口構成

- ・年少人口（15歳未満） 66人
- ・生産年齢人口（15～64歳） 578人
- ・老年人口（65歳以上） 702人
- ※平均年齢 60.1歳（呉市 50.3歳）

◇自治会 全3自治会

- ・三之瀬自治会（全7地区 220世帯）
- ・下島自治会（全8地区 283世帯）
- ・大地蔵自治会（全5地区 177世帯）



(5) 長所「宝」

◇瀬戸内海国立公園固有の多島海による風光明媚な自然と、島内に点在する松並木の景観との調和が美しい。

◇長期にわたって下蒲刈の歴史を研究し、郷土文化を掘り起こすと同時に、全島庭園化事業「ガーデン・アイランド構想」に基づくまちづくりを推進してきた。

◇地域の文化、風土を尊重した日本庭園や日本建築に一貫してこだわっており、中でも蘭島閣美術館前の石畳舗装に松を配する庭園風景は下蒲刈を代表する景観である。

◇建設当時わずか二千人足らずの島に、立派な文化施設や美術品、朝鮮通信使を紹介する施設は全国的にも希少である。

◇町内を巡回する生活路線バスが1日11便あり、児童・生徒の通学や高齢者の移動手段として利用されている。

◇地区内数カ所に*中水の取水場を設け、農業用水や灌水時の水として常時無料で利用できる。*中水とは上水として生活用水に使った水を下水道に流すまでもう一度再利用する水のことをいいます。

◇伝統的なみかんの栽培。その歴史は古く、始まりは、約450年前とされている。現在、みかん畑にある木々は、昭和28年～30年にかけての、みかんブームの時代に植えられたものである。

◇歴史的には、海上交通の盛んなころの自負心と活力、それに「朝鮮通信使」使節団を友好的にもてなした「ホスピタリティ文化」が根付いている。



3. これまで進めてきたまちづくりの特色

(1) 「文化と歴史の掘り起こし」と「ガーデン・アイランド構想」に基づくまちづくり

平成2年より「文化と歴史の掘り起こし」と、瀬戸内の豊かな自然と日本の伝統文化を活かした全島庭園化事業「ガーデン・アイランド構想」に基づくまちづくりを推進することで、魅力あるまちの実現を目指している。

具体的には、下蒲刈の文化・歴史、特に朝鮮通信使を大きな柱とした町づくり、蘭島閣美術館、音楽会を中心とした芸術面での人づくり、「松」を中心とした景観づくりがある。

これらのまちづくりは、住民と行政との協力によって進められた官民一体のまちづくりであった。



「ガーデン・アイランド構想」に基づくまちづくりとは？

本構想は、自然破壊なしで「地域振興」「生活環境整備」「観光振興」「自然と文化と歴史的環境の質的向上」を実現することを目的としています。

具体的には、ガーデニングの方法を活用した“庭園の島づくり”を進めることで、地域の生活環境整備がさらに進み、住民にとって真に下蒲刈島がプライド・オブ・プレイス（Pride of Place、地域への誇り）と感じられるようになります。その結果、住民自身“わが島・わが町意識”を高め、島内の環境整備や景観創出事業にも参加することになります。

このようにして島が美しく、活気に満ちてくれば、当然、島外の人々は、一度は訪れてみたい島・町となっていきます。



(2) エリア別まちづくりの特色

下蒲刈町は3つの地区（自治会コミュニティ）で組織され、地域性を活かした特色あるまちづくりが行われている。

下 島 地 区

海と文化と歴史エリアの玄関口及び良好な居住環境ゾーン

- ◇安芸灘とびしま海道の玄関口として、瀬戸内の自然環境と松を調和させた町並みで、訪れる人の心を和ませる。
- ◇農業生産基盤を整備し、基幹作物であるかんきつ類などを生かした特産品の開発や農業体験などの多様なソフトが充実している。
- ◇農業集落としての特性を生かしながら、海辺の快適な居住空間の形成を目指している。



三 之 瀬 地 区

瀬戸内海の文化・迎賓拠点及び保健・医療サブ拠点ゾーン

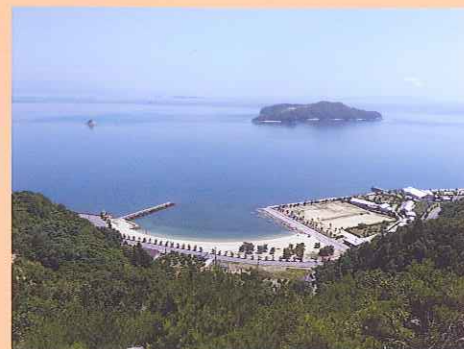
- ◇蘭島閣美術館や松濤園など、既存の文化施設機能の充実を図り、呉市における海辺の文化・迎賓拠点としての役割を担っている。
- ◇公立下蒲刈病院など、安芸灘4島の保健・医療のサブ拠点として機能の充実を図るとともに、市民センター等の行政機能を充実させた地域密着型のサービスを行っている。



大 地 蔵 地 区

漁業・農業の振興及び海辺の良好な居住環境ゾーン

- ◇豊かな自然環境と観光資源としての漁業、農業を生かした多様なソフトの充実、特産品の開発、加工などの事業を展開している。
- ◇梶ヶ浜海水浴場、キャンプ場、コテージ等を中心としたマリンスポーツ・レクリエーション施設の充実と活用を図るとともに、姫ひじき塩づくり体験施設を体験学習の場として提供している。
- ◇大地蔵並木（道路片を青石で囲んだクロマツ並木）が約四百メートルも続き、海辺の快適な景観として魅力を打ち出している。



4. 安芸灘諸島に期待される役割

平成12年に安芸灘大橋が、平成20年11月には安芸灘諸島連絡架橋3号橋(豊島大橋)が開通したことにより、安芸灘諸島が陸続きとなった。定住機能の確保と島しょ部の活性化を図るため、下蒲刈町は、安芸灘地域の玄関口に当たる地域として、本地域の行政機能の充実を図るとともに4島の保健・医療のサブ拠点として公立下蒲刈病院などの医療施設の充実が期待されている。



また、蘭島閣美術館、松濤園などの文化ゾーンを始めとした瀬戸内海の文化と歴史を生かし、呉市の瀬戸内迎賓エリアとして、地域発展と観光振興が期待されている。



5. 私たちのまちの実状と課題

少子高齢化が著しい中、平成12年の安芸灘大橋の開通後も、人口の流出、若者の町外への移住傾向は続き、町内の高齢化、過疎化はさらに進んでいる。地域力の低下をはじめ、支援や介護を必要とする人の増加、地元産業を支える後継者不足など、多岐に渡って人口減少・少子高齢化の影響がでており、令和2年3月末には下蒲刈小学校及び下蒲刈中学校とも閉校した。



地域コミュニティ活動においても、まちづくりを担うリーダーが、いくつもの団体の役員を重複していることが多いため、集いの目的は異なるが、集うメンバーは固定されている。このことは、役員の兼任や留任の原因にもなり、団体の高齢化に繋がっている。今後、若者の地域活動への参加を促す意味でも、団体のあり方や活動内容を見直す必要が生じている。

このような、地域課題の解決に向けて、自治会を中心とした組織や団体が連携し、住民とともに地域力を強めていくまちづくりが必要になっている。



6. まちの将来像 “スローガン”

下蒲刈町は、これまで地域住民の大きなチャレンジ精神をもって、美しい天与の自然、文化・歴史を掘り下げながら、島を庭園のように創りあげてきた。

先人が築いてきた文化・歴史・自然、人々の体験などが若い世代に受け継がれ、住民が愛着と誇りを持って住み続けたいと思えるような魅力あるまちづくりを目指していくため、平成21年3月、まちづくり協議

会は、まちの将来像を“歴史と伝統文化を次世代に 故郷を愛せるまち「しもかまがり」”と定めた。



～歴史と伝統文化を次世代に

故郷を愛せるまち「しもかまがり」～



7. まちづくりの方針（振興方針・活動方針・活動内容）

（1）振興方針と活動方針

「文化と歴史の掘り起こし」と「ガーデン・アイランド構想」に基づくまちづくりを基軸としたまちの将来像「歴史と伝統文化を次世代に 故郷を愛せるまち“しもかまがり”」を実現するため、効果的と考えられる振興方針を以下の3つに整理した。実施に当たっては、基本的に地域住民（各種団体）が主体となり、行政と連携して取り組んでいく。

①文化と歴史の伝承と観光色あふれるまちづくり

（Ⅰ）伝統文化継承の充実

- i. とんど祭り
- ii. 朝鮮通信使再現行列

（Ⅱ）観光振興・地域PRの充実

- i. 梶ヶ浜ビーチフェスタ
- ii. 観光PR
- iii. 地域の活力を引き出すイベント



②みんなで支え合い、心豊かに暮らせるまちづくり

（Ⅰ）環境衛生美化の充実

- i. 公衆衛生の推進

（Ⅱ）芸術文化・生涯学習の充実

- i. 町民文化祭
- ii. 芸術文化の祭典

（Ⅲ）緑化推進の充実

- i. 植樹・樹木管理

（Ⅳ）世代間交流

- i. 成人式
- ii. 子ども祭り



③健康で安心して住み続けられる社会環境と福祉のまちづくり

（Ⅰ）健康づくりの充実

- i. ウォーキング大会
- ii. グラウンドゴルフ大会

（Ⅱ）高齢者福祉の充実

- i. 敬老会

（Ⅲ）交通事故の防止と安全対策の充実

- i. 交通安全の推進

（Ⅳ）防犯対策の充実

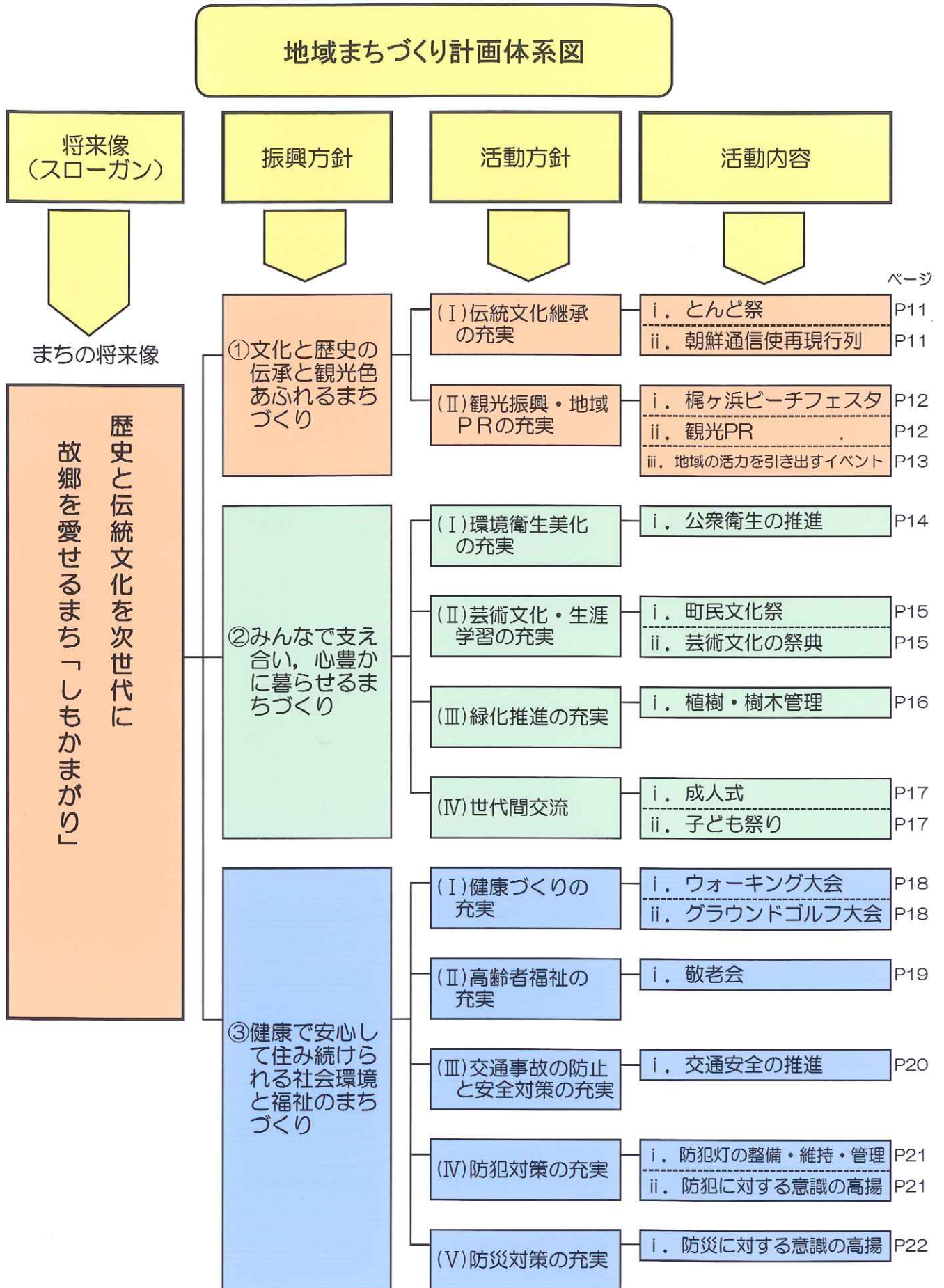
- i. 防犯灯の整備・維持・管理
- ii. 防犯に対する意識の高揚

（Ⅴ）防災対策の充実

- i. 防災に対する意識の高揚



(2) 計画体系図




(3) 活動内容 (事業別)


振興方針 ① 文化と歴史の伝承と観光色あふれるまちづくり

(I) 伝統文化継承の充実

i. とんど祭 (下島・三之瀬・大地蔵)


主 体	時 期 (1月)
下蒲刈町まちづくり協議会 下蒲刈地区とんど祭り実行委員会	
内 容	とんど実行委員会が全体の企画調整を行い、各自治会が消防分団、女性会等と連携を図り地区別に実施する。広報活動には、保育所等の協力を得る。
3地区がそれぞれの会場で「とんど」を組み立て、同時刻に点火する。 消防団による火気警戒が行われる他、竹つき餅を焼いたり、甘酒の振る舞いなどが行われている。 (1月最後の日曜日の午前10時に点火)	
課 題	対 策
地域住民がより多く参加し、安全にできるよう取り組む必要がある。	

ii. 朝鮮通信使再現行列


主 体	時 期 (10月)
蘭島文化振興財団 朝鮮通信使行列保存会	
内 容	下蒲刈の代表的文化イベント「朝鮮通信使再現行列」の継続実施のため、地域住民及び各種団体の協力、連携を一層図る。
鎖国の時代の善隣友好使節団「朝鮮通信使」が来日した際、幕府から「御馳走所」に指定された下蒲刈は、広島藩を挙げての大歓迎を行った。この朝鮮通信使が立ち寄った際の行列を再現している。 (10月第3日曜日に実施)	
課 題	対 策
地域住民の高齢化などの諸事情による参加者数の減少。人員確保が年々困難になっている。	

(Ⅱ) 観光振興・地域PRの充実

i. 梶ヶ浜ビーチフェスタ（海開き）


主 体	時 期（7月）
梶ヶ浜ビーチフェスタ実行委員会	
内 容	
梶ヶ浜海水浴場を広くPRするとともに、地域住民の交流の場として、稚魚放流などのイベントや、地域団体等による出店などを行っている。	
課 題	対 策
下蒲刈小学校及び中学校の閉校により、小中学生との連携が難しくなったため、よりいっそう地域住民・団体の協力を呼びかけ、連携を図る必要がある。	

ii. 観光PR

主 体	時 期（通年）
下蒲刈町まちづくり協議会	
内 容	
ホームページや観光パンフレットのほか、観光案内板により下蒲刈の見所を紹介している。来島者には観光ガイドによる観光案内を行っている。 また、とびしま海道をコースとするウォーキング大会などのイベントに協力するなどして、とびしま海道のPRも行っている。	
課 題	対 策
ホームページだけでなく、観光パンフレットや観光案内板も最新の情報に更新する必要がある。	


(Ⅱ) 観光振興・地域PRの充実

iii. 地域の活力を引き出すイベント

主 体	時 期 (通年)		
下蒲刈町まちづくり協議会			
内 容			
<p>地元の産品を用いた「食」の販売などを行う「とびしマーレ」など、地元産品のPRや地域が元気になる様々なイベントを行っている。</p>	<th data-bbox="783 824 1425 880">課 題</th> <th data-bbox="783 880 1425 1122">対 策</th>	課 題	対 策
<p>平成30年度以降、とびしマーレなど大人数を集客できるイベントが実施されていない。</p>			


(I) 環境衛生美化の充実

i. 公衆衛生の推進

主 体	時 期 (通年)
下蒲刈地区公衆衛生推進協議会	
<p data-bbox="427 517 529 555">内 容</p> <p data-bbox="146 562 767 705">地域住民による町内全域一斉清掃や消防団による側溝清掃（町内クリーン作業）のほか、定期的な生活道路の除草等により、公衆衛生の推進に努めている。</p>	
課 題	対 策
<p data-bbox="146 889 762 958">地域住民がより多く参加できるよう取り組む必要がある。</p>	<p data-bbox="790 889 1406 992">下蒲刈地区公衆衛生推進協議会が中心となり「町内クリーン作業」の広報，参加協力を広く求める。</p>

(Ⅱ) 芸術文化・生涯学習の充実

i. 町民文化祭

主 体	時 期 (11月)
下蒲刈町文化協会 下蒲刈町民文化祭実行委員会	
内 容	
文化協会が実行委員会を立ち上げ、文化の日に実施している。日本舞踊などの芸能発表、書道、絵画を中心とした展示発表、茶道団体によるお茶のおもてなしがある。文化活動団体に発表の場を与えるとともに、地域の文化活動を広く周知し、地域住民の生涯学習参加へのきっかけづくりを目的としている。	
課 題	対 策
人口減・高齢化により担い手・参加者の数が減ってきている。	下蒲刈町文化協会が中心となり、より多くの住民が参加、来場できる文化祭を企画運営する。

ii. 芸術文化の祭典

主 体	時 期 (通年)
蘭島文化振興財団 蘭島閣ギャラリーコンサートの会	
内 容	
蘭島閣美術館や松濤園などの文化施設を軸として、特別展や蘭島閣ギャラリーコンサート、体験教室などの各種事業を実施。	
課 題	対 策
「下蒲刈 文化と歴史の祭典」を代表とする特別展や「ふれあいコンサート」などへ積極的な誘客が求められる。	新聞、ホームページ、市政だよりを中心とした広報を積極的に行う。


(Ⅲ) 緑化推進の充実

i. 植樹・樹木管理

主 体	時 期 (通年)
下蒲刈町まちづくり協議会	
<p data-bbox="411 517 512 551">内 容</p> <p data-bbox="148 562 767 667">大津泊庭園に桜やオリーブを植え，丸谷花壇を整備し，大津泊庭園及び丸谷花壇の管理をしている。</p>	
課 題	対 策
<p data-bbox="148 891 767 958">植樹や管理を行う協力者が少なく，一部の者に対する負担が大きい。</p>	

(Ⅳ) 世代間交流

i. 成人式


主 体	時 期（1月）
下蒲刈地区自治会連合会	
内 容	
<p>下蒲刈地区に居住する新成人を地域をあげて祝福する。</p> <p>成人年齢の引き下げが行われる令和4年度以降は，当該年度に20歳に到達する者を対象に「はたちの集い」として実施する予定。</p>	
課 題	対 策
<p>参加する新成人が減少しているため，新成人に魅力的な成人式を行う必要がある。</p>	<p>令和元年度より成人式会場を蘭島閣美術館及び白雪楼に変更するなど，より地域に密着した式典としている。</p>

ii. 子ども祭り

主 体	時 期（4月から5月）
喜楽会	
内 容	
<p>大津泊で4月下旬から5月中旬まで鯉のぼりをあげ，5月5日にはお菓子の無料配布やバルーンアートやビンゴ大会などのイベントを行っている。</p> <p>子ども祭りを通じて，子どもの健やかな成長を願うとともに，幅広い世代の人との交流を行っている。</p>	
課 題	対 策
<p>地域住民が多く参加し，幅広い世代の人が交流できるように取り組む必要がある。</p>	

(I) 健康づくりの充実

i. ウォーキング大会

主 体	時 期 (通年)
下蒲刈地区みんなで健康づくり推進協議会 下蒲刈ウォーキング等実行委員会	
内 容	
年2回、ウォーキング大会（天神鼻コース、梶ヶ浜コース）を実施。健康遊具体験や血管年齢測定なども行っている。	
課 題	対 策
自分自身の健康に関心が低い人が多い。ウォーキング大会やウォーキングコースの認知度も低い。	

ii. グラウンドゴルフ大会

主 体	時 期 (9月)
下蒲刈町まちづくり協議会 喜楽会	
内 容	
全町民を対象に、ルールが簡単で少人数でも容易に参加できる競技として、グラウンドゴルフ大会を実施。	
課 題	対 策
地域住民がより多く参加できるよう取り組む必要がある。	


(Ⅱ) 高齢者福祉の充実

i. 敬老会

主 体	時 期 (9月)
呉市下蒲刈地区社会福祉協議会	
<p data-bbox="427 517 531 555">内 容</p> <p data-bbox="148 562 778 674">地区内の70歳以上の方を対象に、食事と一緒に催し物を楽しんでもらい、長寿を祝う。</p>	
課 題	対 策
<p data-bbox="148 889 738 958">運営に携わる団体の構成員が高齢化し、負担が大きくなっている。</p>	


(Ⅲ) 交通事故の防止と安全対策の充実

i. 交通安全の推進

主 体	時 期 (通年)
下蒲刈地区交通安全推進協議会 広交通安全協会下蒲刈支部	
<p style="text-align: center;">内 容</p> 交通安全運動期間中におけるテント村、 保育所園児による交通安全パレード、毎月 1日に地区内巡回により交通事故防止を啓 発している。 また、交通安全自転車大会への出場で高 齢者の交通安全への意識を高めている。	
課 題	対 策

(Ⅳ) 防犯対策の充実

i. 防犯灯の整備・維持・管理


主 体	時 期（通年）
下蒲刈地区自治会連合会	
内 容	
<p>夜間における犯罪の防止や、通行の安全を図るため、防犯灯を設置し維持管理している。</p> <p>平成24年に蛍光灯からLED照明への切り替えを行った。</p>	
課 題	対 策
<p>損傷や故障によるLED防犯灯器具の取り替えや、老朽化による木製電柱から鉄製電柱への取り替えが必要なケースが出てきている。</p>	<p>補助金を活用し、器具や電柱の取替を進める。</p>

ii. 防犯に対する意識の高揚

主 体	時 期（通年）
下蒲刈地区防犯組合連合会	
内 容	
<p>呉市防犯組合連合会や広島警察署と連携して、防犯活動を行う。</p>	
課 題	対 策
<p>下蒲刈地区防犯組合連合会の休止状態が続いている。</p>	

(V) 防災対策の充実

i. 防災に対する意識の高揚

主 体	時 期 (通年)
自主防災会	
内 容	
<p>消防団等と連携し、訓練・研修など地域住民の防災意識を高める取り組みを行う。要援護者については、民生児童委員と連携し、災害時における援護体制の充実を図る。</p>	
課 題	対 策
<p>自分の身を守るのは自分である、普段からいざというときの準備をしておくということを、全地域住民に強く意識してもらう。</p>	<p>平成27年度より、各地区でとんど祭りにあわせて初期消火訓練を実施している。</p>

8. 各種団体一覧

- ◇ 下蒲刈町まちづくり協議会
- ◇ 下蒲刈町女性団体連合会
 単位女性会（下島/大地蔵）
- ◇ 青年会（三之瀬/下島）
- ◇ 下蒲刈地区公衆衛生推進協議会
- ◇ 呉市第22区民生委員児童委員協議会
- ◇ 呉市下蒲刈地区社会福祉協議会
- ◇ 下蒲刈みんなで健康づくり推進協議会
- ◇ 下蒲刈地区防犯組合連合会
- ◇ 下蒲刈地区交通安全推進協議会
- ◇ 広交通安全協会下蒲刈支部
- ◇ 下蒲刈地区青少年補導員連絡協議会
- ◇ 下蒲刈地区人権教育・啓発推進協議会
- ◇ 梶ヶ浜ビーチフェスタ実行委員会
- ◇ 下蒲刈地区とんど実行委員会
- ◇ 下蒲刈ウォーキング等実行委員会
- ◇ 下蒲刈地区自治会連合会
 単位自治会（三之瀬/下島/大地蔵）
- ◇ 下蒲刈地区老人クラブ連合会
 単位老人クラブ（三之瀬/下島/大地蔵）
- ◇ 呉市消防団下蒲刈地区隊
 呉市消防団下蒲刈分団
- ◇ 公益財団法人蘭島文化振興財団
- ◇ 朝鮮通信使行列保存会
- ◇ 蘭島閣ギャラリーコンサートの会
- ◇ 下蒲刈保育所保護者会
- ◇ 子ども会（下島/大地蔵）
- ◇ 下蒲刈町文化協会
- ◇ 下蒲刈地区体育協会
- ◇ ひまわりグループ
- ◇ 下蒲刈町漁業協同組合
- ◇ NPO法人海駅三之関
- ◇ 喜楽会

まちづくり協議会について

- 呉市下蒲刈地区まちづくり協議会（H16. 4. 1発足，H27. 7. 31解散）
 活動期間：平成16年度～平成26年度
- 一般社団法人下蒲刈まちづくり協議会（H27. 4. 20創立，H29. 3. 31休業）
 活動期間：平成27年度～平成28年度
- 下蒲刈町まちづくり協議会（H29. 3. 24発足）
 活動期間：平成29年度～現在



Live for garden island